# 6 学年題材指導計画

# 音が響き合うように演奏の仕方を工夫しよう(4時間扱い)

## 1. 題材のねらい

和声の美しさやいろいろな楽器の音色を生かした楽しさを感じて,美しい響きで歌ったり,合奏 したりすることができるようにする。

きれいな響きになるように,歌唱の形態や楽器編成を選択し,工夫して表現することができるようにする。

#### 2. 教材について

(1) 風を切って(土肥 武 作詞,橋本 祥路 作曲)

# 《学習指導要領5·6学年の内容との関連》A(1)ア,イ,A(2)イ,A(3)イ,B(1)イ

世界的な冒険家といわれた植村直己をイメージして作られた曲である。 の主旋律に対し,やや対位的に響きを深める の旋律が歌の旋律にもなっている。伴奏部は,切迫感を感じさせるリズムと力強いバスの響きからなっている。各パートの役割がはっきりしているので,曲の仕組みを理解しながら仕上げていくようにしたい。また各パートの音色を工夫して,響きの美しい合奏をさせたい。

(2) コンドルは飛んで行く(ダニエル ロブレス,ジョージ ミルヒバーグ作曲,橋本 祥路編曲) **《学習指導要領5・6学年の内容との関連》**A(1)**イ**,A(2)**イ**,A(3)**イ**,B(1)**ウ** 

ペルーに古くから伝わる民謡をロブレスがサルスエラ (スペイン風のオペレッタ)の一部に使ったものが元になっている。リコーダーの音の重なりや,他楽器との音の掛け合いや重なりが心地よい合奏曲である。またリコーダーと鍵盤の音の重なり,曲の山におけるリコーダーの高・低音の広がりなど,音の重なりによって生み出される音の広がりを十分に感じ取らせることもできる曲である。児童の意見を取り入れて,無理のない範囲で楽器選択の幅を広げ,さらに響き合いの楽しさを味わわせたい。

## 3.題材の評価規準

	ア 音楽への	イ 音楽的な	ウ 表現の技能	エ 鑑賞の能力	
	関心・意欲・態度	感受や表現の工夫	プ 表現の技能	エ	
題	旋律のまとまりや	旋律のまとまりや	選択した楽器の音	旋律のまとまりや	
材	変化,音の重なりによ	変化,音の重なりによ	色の特徴を生かして,	変化,音の重なりによ	
の	る様々な響きに関心	る様々な響きに気付	曲想をとらえながら	る様々な響き,楽器ご	
評	をもち , 自分の楽器パ	き,曲想を生かした効	演奏している。	との音色の特徴に気	
価	ートに楽しんで取り	果的な楽器選択や奏		付いて聴いている。	
規	組んでいる。	法を工夫している。			
準					

学 器楽表現を聴いて、 習 音の流れ,楽器の音 色による響きに関 活 心をもち,意欲的に 動 器楽表現しようと に お している。 【Aと判断するキーワード】 け □旋律の変化や音の重な┃□和音を表現する工夫。学┃□楽譜に沿った正確な視 りによる響きへの気付 具 きと説明。 体 □様々な楽器やパートへ 的 評 の挑戦。 価 規

進

楽曲編成や音の重 なりに気付き,表現 の工夫をしている。 【Aと判断するキーワード】

- □楽器の音色から楽曲の 中で果たす役割の明確 なとらえ。
- 習カードへの記述に明 確な工夫を記載。

楽器固有の音色の 特徴に気付き,豊か な音色を求めて演 奏を工夫している。

【Aと判断するキーワード】

- と曲想の結びつきの明 確な把握。
- □効果的な表現になるよ う基本的な奏法を踏ま えた上での工夫。

曲想を感じ取り,旋 律の流れに合う和 音の響きを作るよ う演奏の工夫をし ている。

【Aと判断するキーワード】

- □音の重なりや和音の響 きについてのとらえと 説明。
- □音の重なりや和音の響 きを生かす演奏の工夫。 曲想にふさわしい 楽器を選択し,美し く響き合う演奏に なるよう工夫して いる。

【Aと判断するキーワード】

□適切な楽器選択。他楽器

読譜し、自分のパー トについて音階や 記号の意味を理解 し,視奏している。

【Aと判断するキーワード】

- □正しい読譜と記号の理│ 解

曲想をとらえなが ら, 小アンサンブル の中で響き合うよ う工夫して演奏し ている。

【Aと判断するキーワード】

- □楽器固有の音色の特徴│□美しく響き合うよう気│ を付ける所を把握
  - □楽器同士の音量やバラ ンスを考えた演奏

旋律の流れやそれ にあった表現のよ さに気付きながら 友達の演奏を聴く。

【Aと判断するキーワード】 □曲想やそれにあった表 現方法について明確な

とらえ。

□友達の演奏の成果と課 題のとらえ。

楽器ごとの音色の 特徴や響きを感じ 取って聴くことが できる。

【Aと判断するキーワード】

□楽器ごとの音色の特徴 や響きについての明確 な記述,発表

とのパランス。	
□美しく響き合うための	
工夫の妥当性。	

4.指導と評価の計画(4時間扱い): 取り扱い項目 取り扱い重点項目

		題材の	指導要領	内容のまとまり				
				との関連				
時	主な学習内容	評価	との	歌	器	創	鑑	評価方法等
		規準	関連	唱	楽	作	賞	
	《風を切って》							
1	曲の感じをつかみ,主旋律を歌う。							
	・範唱 CD を聴いて情景を想像し,曲の	ア -	A(1)ア					行動観察
	感じや旋律の繰り返し 変化をつかむ。							学習カード
	・反復記号の意味について知り,旋律の							
	繰り返しの効果について気付く。							
	・ のパートを強弱に気付いて歌い方を	イ -	A(2)イ					歌唱聴取
	工夫する。							
	希望で自分の取り組む楽器を決め,各							
	パートに取り組む。							
	・グループごとに楽器を決め ,練習する。	ウ -	A(1)イ					行動観察
								学習カード
	旋律の重なり合う響きを感じ取って,							
	演奏する。							
	・自分の楽器の音色のよさに気付き,音	イ -	A(3)イ					行動観察
2	色を生かした演奏の仕方を工夫する。							学習カード
	楽器の音色や重なり合う響きを聴きあ							
	って,強弱や音量に気を付け,バラン							
	スがよい合奏を工夫する。							行動観察
	・お互いに聴き合って,旋律の流れに合							
	う曲の重なりになっているか , 話し合	イ -	A(2)イ					
	いながら練習する。							
	・音量,強弱などに気を付け,バランス							
	のよい合奏に仕上げる。							
	・ミニ発表会をしてお互いのグループの	ウ -	A(3)イ					演奏聴取
	よさに気付く。	エ -	B(1)イ					学習カード

	《コンドルは飛んで行く》 範奏 CD を聴き,曲想やそれに合った 楽器や表現の工夫に気付く。				
	・曲想をとらえ,楽器の音色に気を付けて聴き,それを演奏に生かそうとする。	I -	B(1)ウ		行動観察     学習カード
3	自分の取り組みたい楽器を選択し、各				76/3
	パートに取り組む。				
	・グループごとに楽器を選択し,各パー	ウ -	A(1)イ		行動観察
	トを練習する。				学習カード
	・曲想に合う楽器を選択したり,パート	イ -	A(3)イ		学習カード
	ごとの人数を考えたりしながら,曲想				
	にふさわしい表現になるよう工夫し				
	合う。				
	楽器の音色や重なり合う響きを聴きあ			 	
	って バランスのよい合奏を工夫する。				行動観察
	・お互いに聴きあって,曲想にあった表	イ -	A(2)イ		学習カード
4	現になっているか,工夫が演奏に適切				
	に表れているか,話し合いながら練習				
	する。				
	・曲想を生かし,美しく響き合う演奏に	イ -	A(3)イ		行動観察
	なるよう仕上げる。				\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-
	・発表会をしてお互いのグループのよさ		A(3)イ		演奏聴取
	を発表しあう。	エ -	B(1)ウ		学習カード